

SHIMOIGUSA LIBRARY



いまこそ教養！



「名作文庫」通信



新刊案内	P 1
特集展示 【アメリカ文学】	P 2
作家紹介 【マーク・トウェイン】 ..	P 3-P 4
名作文庫いざない図書	P 5-P 6



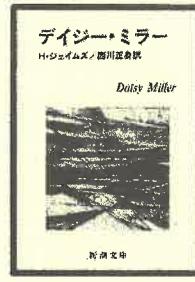
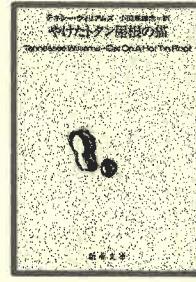
平成31年 春号



SHIMOIGUSA LIBRARY

特集 「アメリカ文学」

開拓時代からの歴史をはらみ、新しい文化を築き上げたアメリカ文学。時代を映す様々な小説や戯曲が登場し、現代アメリカ文学へと昇華されていく。古今を問わない名作文学を堪能しませんか。



【やけたトタン屋根の上の猫】
H.ミンクリー・ウェイ恩著
西川正身訳
新潮文庫

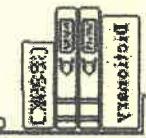
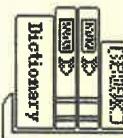
南部アメリカの大富豪の屋敷を舞台に、錯綜する二組の夫婦、瀕死の富豪、遺産をめぐる思惑、同性愛者の夫とその妻…。焼けたトタン屋根の上をのたうち回る猫のごとく繰り広げられる家族の愛憎を描く傑作戯曲。

【武器よさらば】
ヘンクル・ウェイ恩著
高見浩訳
新潮文庫

第一次世界大戦にイタリア軍として参加したアメリカ青年フレドリック。イタリア軍の敗走とともに所属の軍から脱走し、野戦病院の看護婦キャサリンと暮らし始めるが…。大戦の悲劇を描く傑作。

新しく入った本

こちらで紹介しているのは所蔵図書の一部です。



【マハーバーラタ ナラ王物語】
ダマヤンティー姫の数奇な生涯

鎧淳訳 岩波文庫刊

古代インドの長編叙事詩『マハーバーラタ』の中でも、最も美しい愛の物語の原典訳。絶世の美女ダマヤンティー姫と、美貌の貴公子ナラ王の悲しい運命を描く。



【真空地帯】

野間宏著 岩波文庫刊

条文と柵とに縛られた兵営での日常生活は人を人でなくし、一人一人を兵隊へと変えてゆく。人間の暴力性を徹底して引き出そうとする軍隊の本質を突き、軍国主義に一石を投じた野間宏の意欲作。



【ポーラーノの広場】

宮沢賢治著 新潮文庫刊

詩人にして稀有な童話作家であった宮沢賢治の幻想的な童話集。表題作の他「いちょうの実」「風野又三郎」「十力の金剛石」など17編を収録。

アメリカの国民的作家

マーク・トウェイン

作家紹介

マーク・トウェイン (Mark Twain)

本名 サミュエル・ラングホーン・クレメンス
(Samuel Langhorne Clemens)

1835年11月30日 - 1910年4月21日

トウェインは、ミズーリ州フロリダの貧しい開拓者の家に生まれた。少年時代はミシシッピ川に面した田舎町で過ごし、後にこの町での体験が彼の文学の核となる。巧みな語り口、ユーモアと笑いを武器に、多くの作品を発表し、ベストセラー作家となるが、後年は、悲観的な作風に転じた。

なぜこの作家がすごいの？

トウェインの著書である『ハックルベリー・フィンの冒険』はアメリカの国民的抒事物語と言われる傑作である。この物語は『トムソーザの冒険』の続編だが、前作と違つて児童文学の域を超えて、アメリカ的体験と奴隸制度を描いた優れた文学であり、現代アメリカ文学の源流となる。彼の作品は、アメリカ西部の豊かな自然と自由な人間を描いており、アメリカ最初の国民的作家と言われている。



多くの作家に影響を与えた

アーネスト・ヘミングウェイ

「今日のアメリカ文学はすべてマーク・トウェインのハックルベリー・フィンという一冊の本から出ている」

ウィリアム・フォークナー

「最初の眞のアメリカ人作家であり、我々の全ては彼の相続人である」

これは読んでほしい！



【ジム・スマイリーの跳び蛙】

柴田元幸／訳
新潮文庫／刊



【ハックルベリー・フィンの冒険】

土屋京子／訳
光文社古典新訳文庫／刊

トム・ソーザーとの冒險で大金を得た後、学校に通い、まつとうな生活を送っていたハック。そこに息子を取り返そうと飲んだくれの父親が現れ、ハックはすべてから逃れようと、筏(いかだ)で川に漕ぎ出す。身を隠した島で出会ったのは主人の家を逃げ出した奴隸のジムだった…。

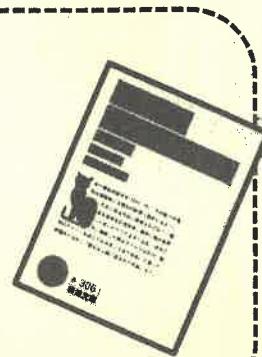
その名を一躍世に知らしめた表題作『ジム・スマイリーの跳び蛙』をはじめ生涯にわたって発表した短編小説、エッセイ、コラム記事の中から、柴田元幸が厳選した十三編の新訳。トウェインの真骨頂である活気に溢れ、ユーモアと諷刺に満ちた作品を収録する。

いざない本の中で紹介されている本

【黒猫・モルグ街の殺人事件】

ボオ/著 中野 好夫/訳 岩波文庫/刊

ホームズの原型ともいえる、探偵オーギュスト・デュパンが密室の謎と意外な犯人を導き出す…世界初の密室殺人事件を扱い、推理小説の原型ともなった「モルグ街の殺人事件」や、続編「マリ・ロジェエ工の迷宮事件」も収録。



【賢者の贈り物】

O.ヘンリー/著 小川 高義/訳 新潮文庫/刊

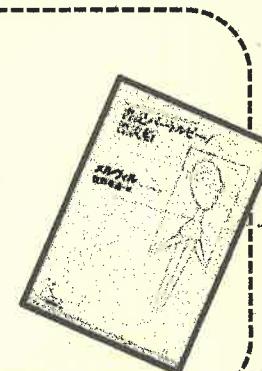
明日はクリスマスなのに…。貧苦のなか、互いを想いあう若い夫婦のすれ違いが意外な奇跡を起こす「賢者の贈り物」。子どもを誘拐した犯人たちの本末転倒を描く「赤い酋長の身代金」他、短編の名手O.ヘンリーの作品16篇を収録。



【書記バートルビー/漂流船】

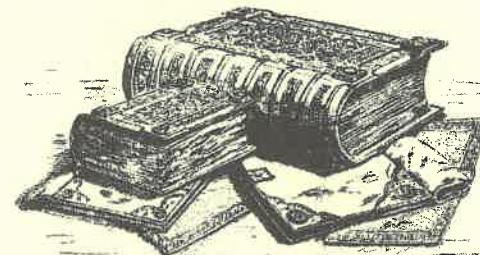
メルヴィル/著 牧野 有通/訳 光文社古典新訳文庫/刊

ウォール街の法律事務所に書記として雇われた寡黙な男バートルビー。だが彼は決まった仕事以外の用事は頑として受け付けない。ついにありきたりの要件さえ一切を拒絶し…。不可解な人物を通して社会の闇を描く中編。



名作文庫「いざない現代図書

名作文庫は敷居が高い、難しそう、などなど…今まで名作文庫を読んだことのない方や、もっと名作文庫を楽しみたい方に、名作文庫にいざなう現代本を紹介します。



新天地アメリカで育まれた巨匠達。
翻訳の名手・柴田元幸が新たに訳した短編集。
O・ヘンリー、ジャック・ロンダンといった短編の名手だけでなく、ポー、ヘミングウェイなどアメリカの古典文学を代表する著名作家8名の作品を収録。
新國家アメリカ力を牽引した文豪の作品を豊かに味わう魅力的な翻訳の決定版。



【アメリカン・マスター・ピース 古典篇】

柴田 元幸／編訳 スイッチ・パブリッシング／刊

おすすめいざない図書



SHIMOIGUSA LIBRARY



下井草図書館には、「名作文庫」の棚があります。
一度は読んでおきたい、古今東西の名著名作を、
文庫版、新書版で集めた本棚です。



季刊名作文庫通信 3.6.9.12月発行

MASTERPIECE COLLECTION

